

漢文を読む

ポイントとは二つ

以前、この欄で古文書について書きましたが、歴史を探るときに、もう一つ、どうしても避けて通るわけにはいかないものがあります。漢文です。

石碑などの碑文はもちろん、江戸時代以前の文芸作品はほとんど漢文で書かれています。漢文で書くことが知識人のあかしでもあったわけですね。戦前までのインテリは、現代の英語のように、漢文の習得に全力を尽くしたのですから。

紙面が少ないので詳しい説明はできませんが、漢文を読むには次のようなポイントがあります。

①文字の意味をよく知る

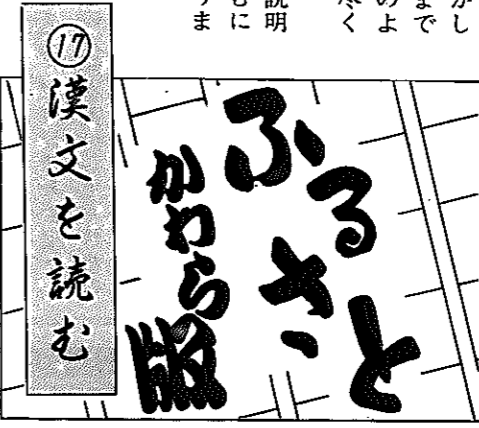
漢文の神髄の一つに、いかにしたら短い文に意味を込め得るか(濃縮)という作法があります。すべての漢字は動詞になり得ますから、文字の意味をよく知ることが必要です。簡単にいえば、小中学校で習うような基礎的な漢字の、意味やニュアンスを確実に習得することです。例えば「小」という文字には、小さい、少ない、狭い、幼い、いやしい、軽んずるなどの意味が、「中」という文字には、なか、真ん中、途中、心、預かる、よろしい、当たる、

かなめなどの意味があります。

②文法は論語が基礎

「論語」は漢文の必読書でした。それは漢文の文法の基礎が論語にあったからです。ですから漢文の文法を学ぶには、最低限論語を読まなければなりません。文法は英語に大変よく似ていますから、若い人ほど理解が早いでしょう。

この二つのポイントを心掛け

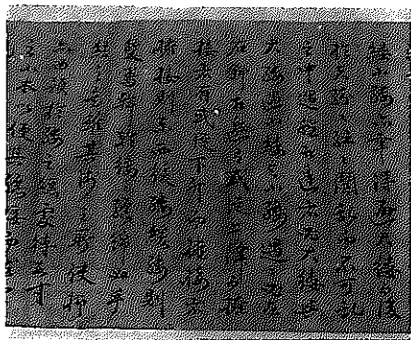


漢文を読む

て習得すれば、漢文が読めるようになってきます。戦前は小学校で既に習得したのでから、二、三方月頑張ればポイントがつかめるようになるでしょう。

上達法は根気

漢文は、時代が新しくなるほど文章が長くなり、文法も複雑になり、文字も多様になる傾向があります。しかし、その基本は短



文です。日本人が書いた漢文を和漢ともいいますが、白根市史に収録されているものは短文体が多いようです。

私たちがよく目に留める漢文は掛け軸でしょう。掛け軸に見られる漢文の多くは詩文の抜き書きですが、これを読み取るのが最も難しいといえます。詩文は文法を無視する場合が多く、この場合は気長に眺めることになります。

漢文の上達法は次の作業を根気強く繰り返すことです。まず、動詞を見つげるために白文とにらめっこです。動詞が見つかったら返り点をつけます。それを文語に書き下した後、口語に訳すのです。この方法は英語の翻訳と全く変わりません。漢文は紛れもなく外国語なのですから。

白根市史全七巻、好評発売中。申し込み、問い合わせは教育委員会社会教育課(☎373・3171)へ。

さようなら太婦承水溝

語る人

青木きよ子さん

(大通二丁目・六十四歳)



私の思い出

あの時この場所

「ふるさとを子供たちに」と、大通団地では毎年八月十五日に、東西自治会を一つに結ぶ「大通まつり」を住民の手づくりで企画。今年は八回目で「太婦承水溝さようならフェスティバル」として実行されました。子供たちのみこしは「踊るポンポコリン」のリズムに乗り、わっしょい、

大通団地

わっしょいと、にぎやかに繰り広げられました。

大通団地は、住民同士の友愛を大切に、新しい伝統づくりに取り組んでいる団地です。この団地の中を太婦承水溝が流れているのです。町の中を川が流れている情景を、私はとても好きです。

雪解けで音を立てて流れる荒々しい川。釣り糸を見つめて根気よく、ゆつたりとした釣り人を垣間見るとき。夏は涼を求め散策。秋はコスモス、ススキが川風に揺れ赤トンボが群れ飛ぶ。冬は除雪の絶好の捨て場を一手に引き受けてくれる。四季折々、水の流れにしばし郷愁を誘う川面。行き交う橋の上。欄干。

ところが、国の方針で改良工事が始まりました。住民の強い要望で、万一の危険を避けて埋め立てられることになりました。川を挟んで楽しんだ夏の一夜のカラオケ大会、民謡流し。来年は東西の壁(川)がなくなり、す。広々とした札幌大通公園通りに迫るのか? 大駐車場に变身するのか? 住民の意向にかなう有効利用を期待しています。

今週の時 代学、習生

教育委員会社会教育課 佐藤正則

有志指導者

派遣制度とは

前回は白根市生涯学習推進協議会の学習プログラム開発部会について紹介しましたが、今回は有志指導者派遣制度部会で検討された内容を紹介します。

生涯学習基本構想では、いつでも、どこでも、だれでも、さまざまな学習ができる環境づくりを目指しています。有志指導者派遣制度は、そのために設けられた制度です。有志指導者とは、皆さんが持っている知識や技術を地域の皆さんに提供してもらおうと。具体的には次のような内容になります。

- ①市内に在住、在勤する二十歳以上の人で、求めに応じて技術や趣味などを伝えられる人を有志指導者とする
- ②身近な有志指導者を活用して、気軽に、個人の家や身近な施設を使って学習できるようにする
- ③指導を通して、指導者からも、



より深い学習をしてもらおう  
④指導者と学習者が互いに学び合い、新たな指導者を育てる

ぜひあなたも 有志指導者に

よその偉い先生を連れてくるのではなく、多くの市民の皆さんから手軽に、肩ひじの張らない指導者をお願いしたいのです。有志指導者の募集分野は次の六つです。

- A 趣味・けいこ事・植物観察、園芸、表具、写真など
- B 家庭生活・日常生活・郷土料理、みそ作り、菓子作り、日曜大工、子供の遊びなど
- C スポーツ、レクリエーション
- D 太極拳、キャンプ、ゲームなど
- E 教養生活の知識、子供のしつけ、外国語、短歌など
- F 伝承文化・しめ縄作り、凧作り、郷土芸能、郷土史など
- F その他

この有志指導者を今年度中に募集するよう、準備しているところです。皆さんの応募、推薦をお願いします。

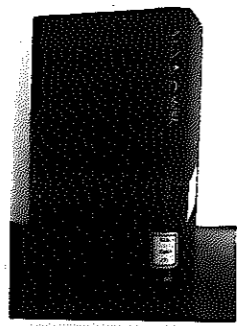


三雷愛子さん (朝捲・57歳)



物語の舞台であるビルマでは、罪を犯し、脱走して日本に帰ろうとさえする兵隊や僧りよに身を変えて生活する兵隊もいます。しかし、主人公の水島上等兵は、何千という死骸を処理し、墓標を建てその霊を弔いました。いつ果てるとも分からない仕事を、自分に課せられた任務と信じていたのです。戦火の中で琴を弾くたびに人間の惨めさ、はかなさを思い浮かべ、悲しみと寂しさをこらえながら、自分自身の心と戦ったのです。

私には直接の戦争体験こそ乏しいのですが、太平洋戦争の終戦前後のあの悲痛な状況は、今も深い印象があります。この本は、戦争とは何か。兵隊とは何か。そして、人の生き方を考えさせる機会を与えてくれたのです。



私の思い出 あなたの心に残るあの時の思い出をお寄せください  
私の一冊 あなたの愛読書をご紹介ください  
あて先 白根市役所広報広聴係 (〒950-12 白根市大字白根1235・☎373-2111(333) 皆さんのご便りをお待ちしています

市立図書館新刊案内

- 市立図書館 ☎ 373-2810
- サーカスの少年 (松本隆)
  - 流行歌論 (加太こうじ)
  - 大嘗祭の始原 (工藤隆)
  - 「妻たきり老人」のいる国 (大熊由紀子)
  - 東海道中膝栗毛 (田辺聖子)
  - 魔物 (西村寿行)
  - おんなの時代の政治談義 (上坂冬子)
  - 親と子のいい関係をめざす本 (斎藤茂太)
  - 星蘭干 (井上靖)
  - 女性のための外国旅行 (平岩弓枝)
  - 地方からの発想 (平松守彦)
  - シーラカンスの海 (井原まなみ)
  - ほか多数

原稿募集